

## 第1回ビジネスジェットの推進に関する委員会

日時：平成22年12月22日（水）10：00～12：00

場所：国土交通省11階特別会議室

主なご意見：

- 米国のビジネスの世界ではビジネスジェットを所有していることが前提となっており、ビジネスの視点から言えば、グローバルな競争の中でビジネスジェットを活用していくことは大変重要である。
- 日本では同時期に多数のビジネスジェットの乗り入れができず、代わりにシンガポールで会議を実施したという例もあり、企業トップのマインドが日本から離れているのは事実。
- 我が国においては、ビジネスジェットは発着枠、駐機場の調整等が難しく、定期便はプライバシーを守れないため、日本への飛来を見送る例が多く、ジャパンパッシングの原因となっているばかりか、ビジネスチャンスそのものを喪失している。
- ビジネスジェットの受け入れ推進策として部分的に改善されているものもあるが、一括して改善していく必要があるのではないか。特に、CIQも含めた専用動線の確保と手続きの効率化は必要であり、現状でもやればできるのではないかと。
- 日本のビジネスジェットに対する海外からの閉鎖的なイメージを払拭する広報活動も必要ではないかと。
- ビジネスジェットは贅沢品であるという国民感情を改める必要もあるのではないかと。
- 従来の延長ではなく、あるべき姿を描き、そこに向けてどう課題を解消していくかを考えていきたい。

○本日の委員会で、ビジネスジェットに取り組む必要性について認識を共有できたのではないか。